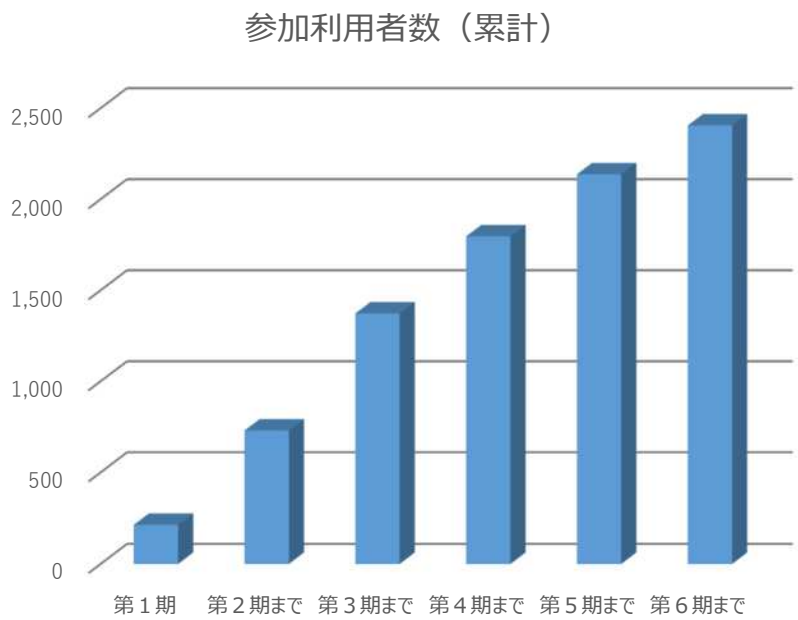
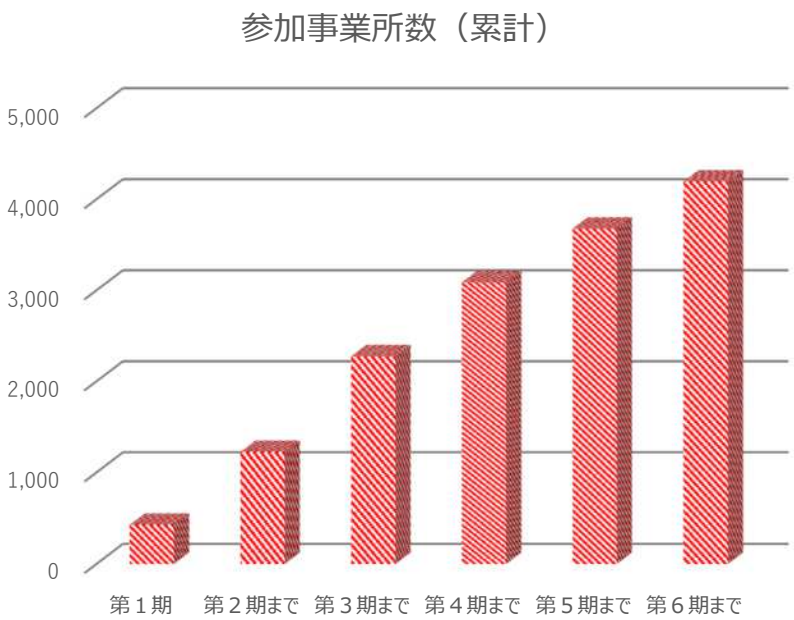
Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

かわさき健幸福寿プロジェクト
これまでの取組み結果

川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

参加利用者数・参加事業所数



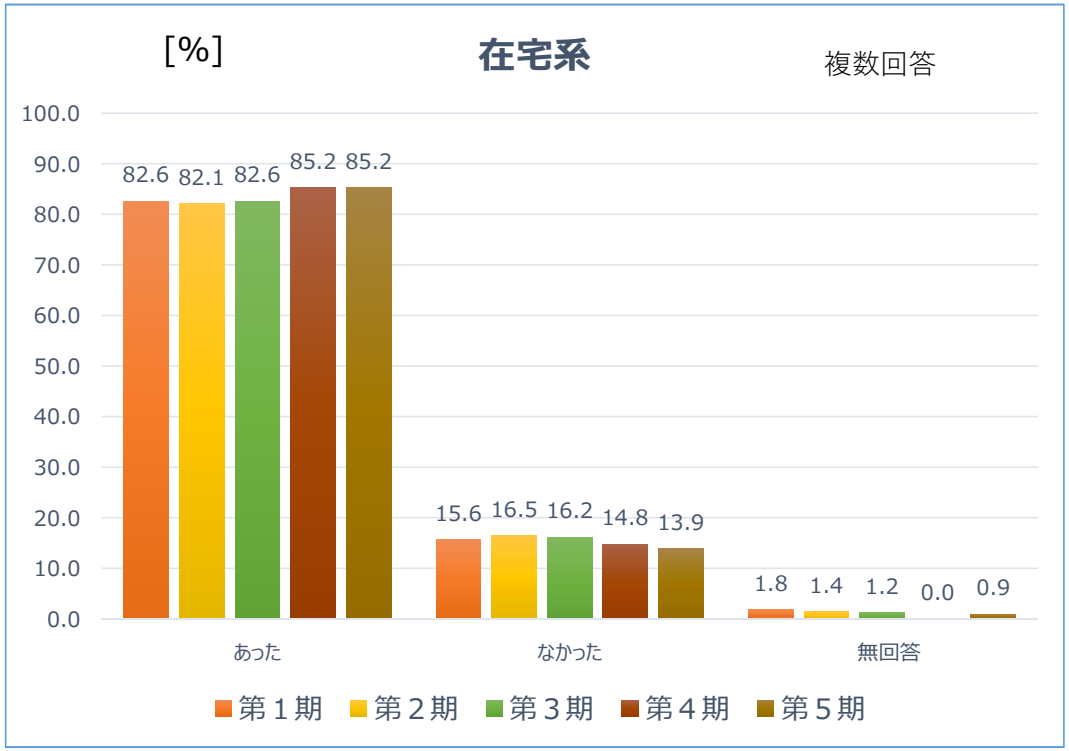


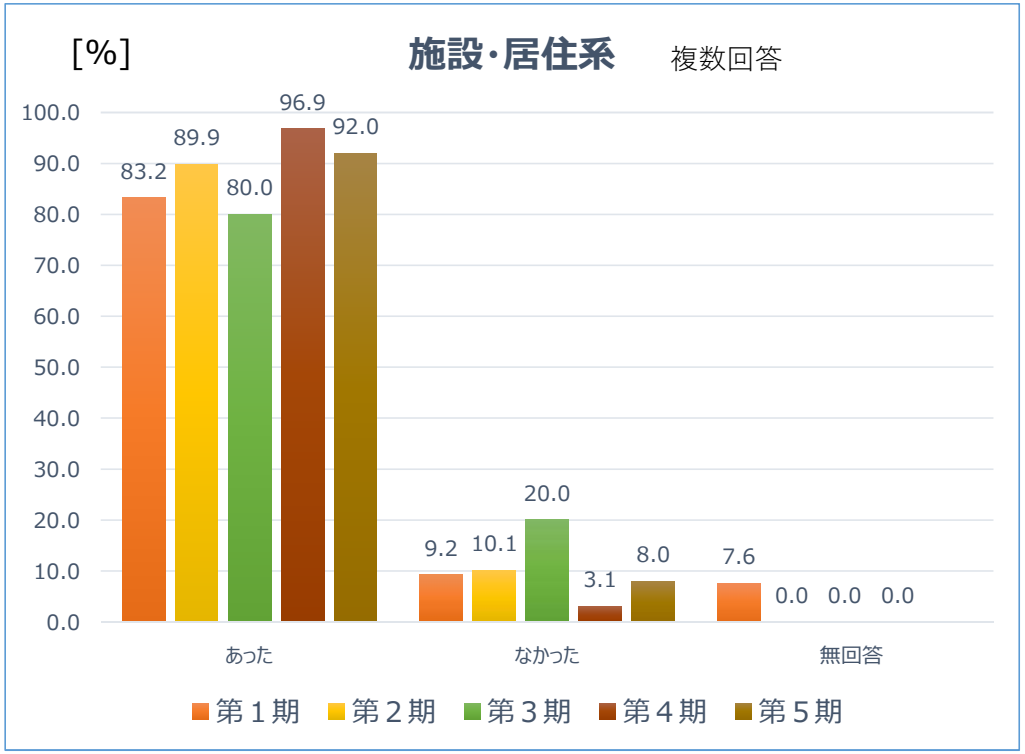
平成２８年７月から事業の本格実施をスタートし、第５期までに累計で約**２，４００名**の介護サービス利用者、延べ**４，１００事業所**にご参加いただいております。

参加事業所からのアンケート

川崎市 KAWASAKI CITY

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の影響

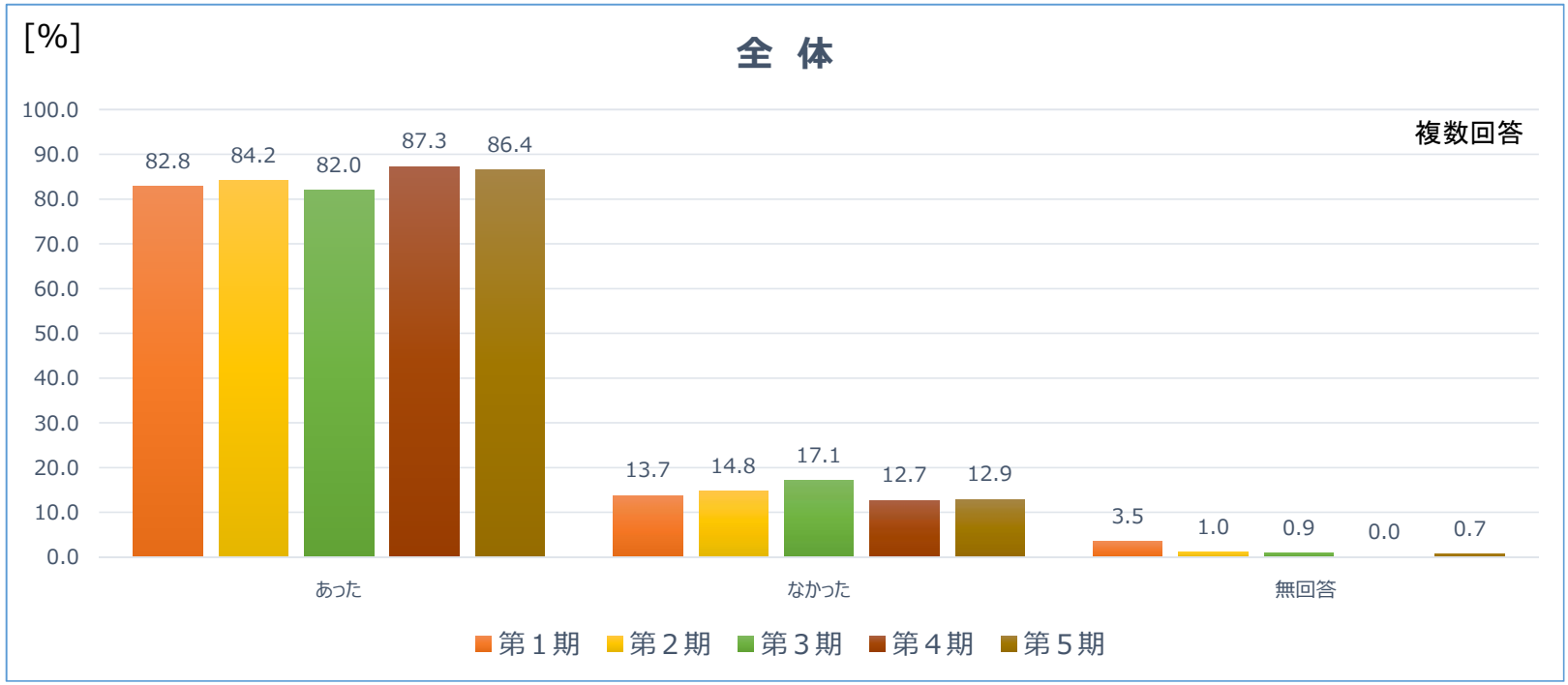




全期において、在宅系、施設・居住系ともに、８０％を超える事業所からプロジェクトに参加したことによって何らかのプラス面の影響があったことを確認できた。

参加事業所からのアンケート

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の影響

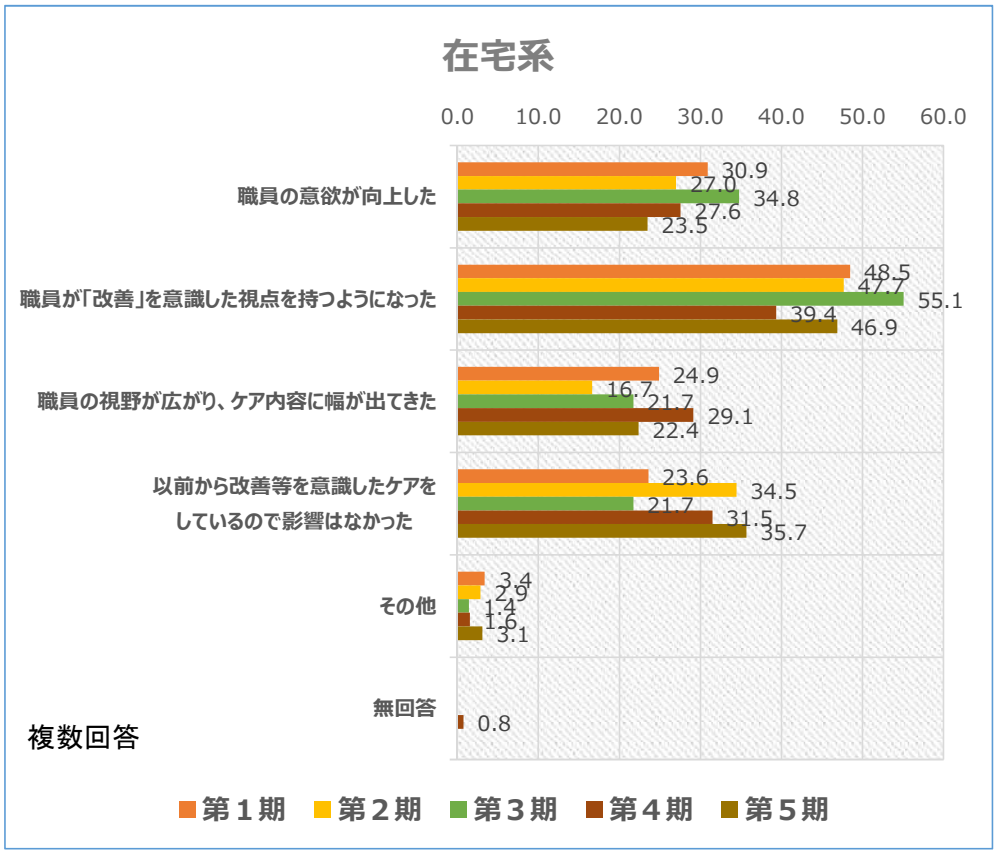


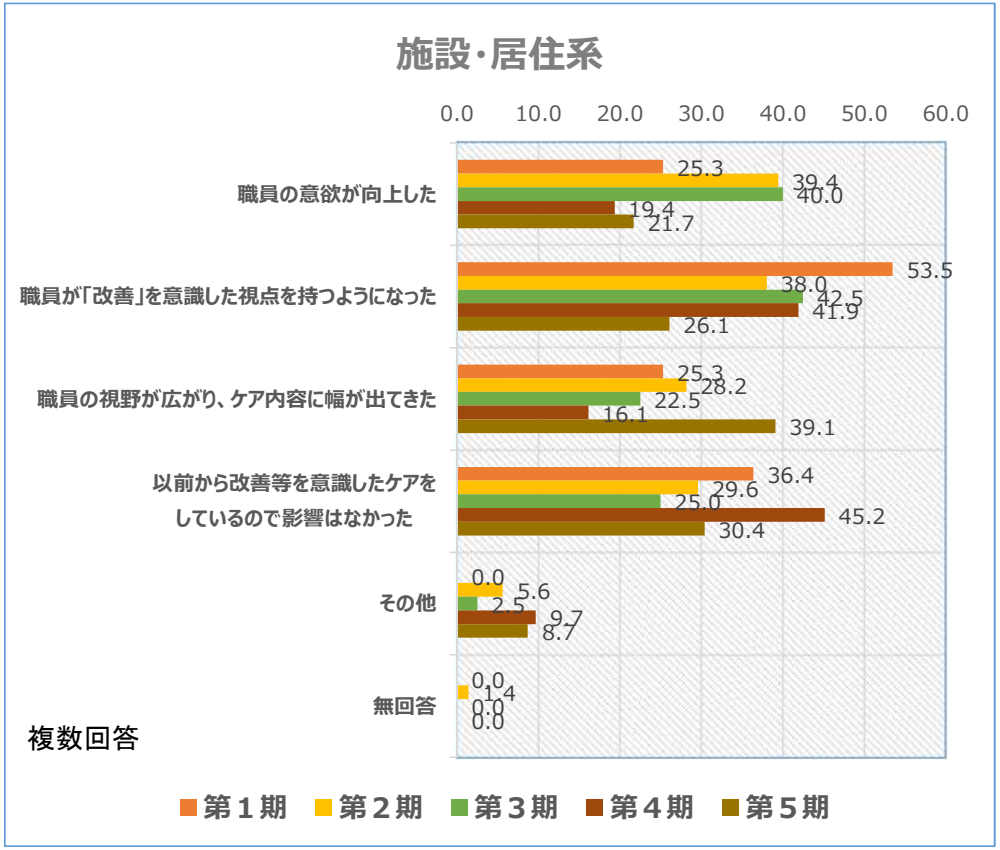
参加事業所全体についても、８０％を超える事業所からプロジェクトに参加したことによって何らかのプラス面の影響があったことを確認できた。

参加事業所からのアンケート

川崎市 KAWASAKI CITY

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の内容



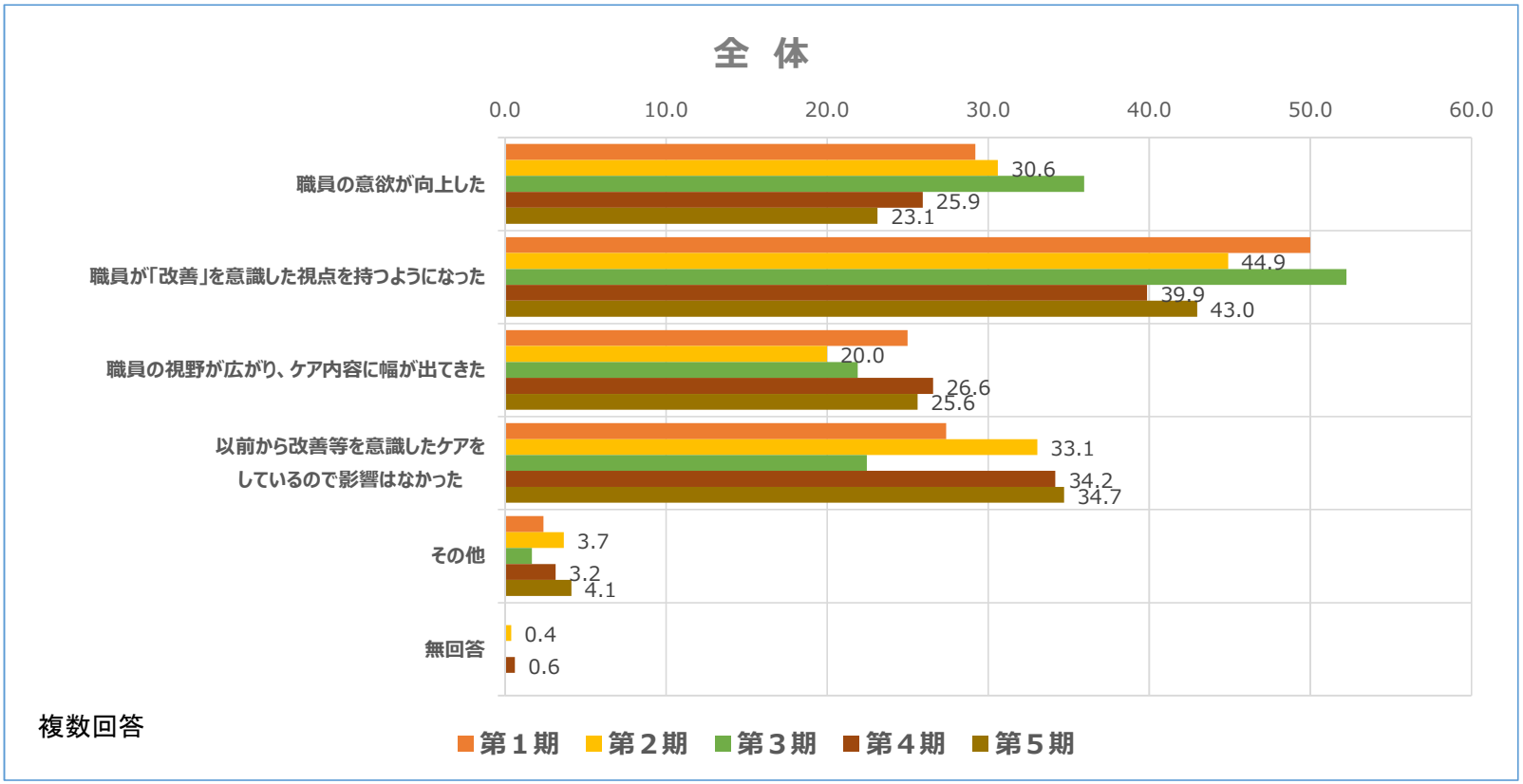


在宅系においては、「職員が改善を意識した視点を持つようになった」、施設・居住系においては、「職員の視野が広がり、ケア内容に幅が出てきた」など介護業務に関した回答が多い。

参加事業所からのアンケート

川崎市 KAWASAKI CITY

◆プロジェクトに参加したことによる事業所へのプラス面の内容

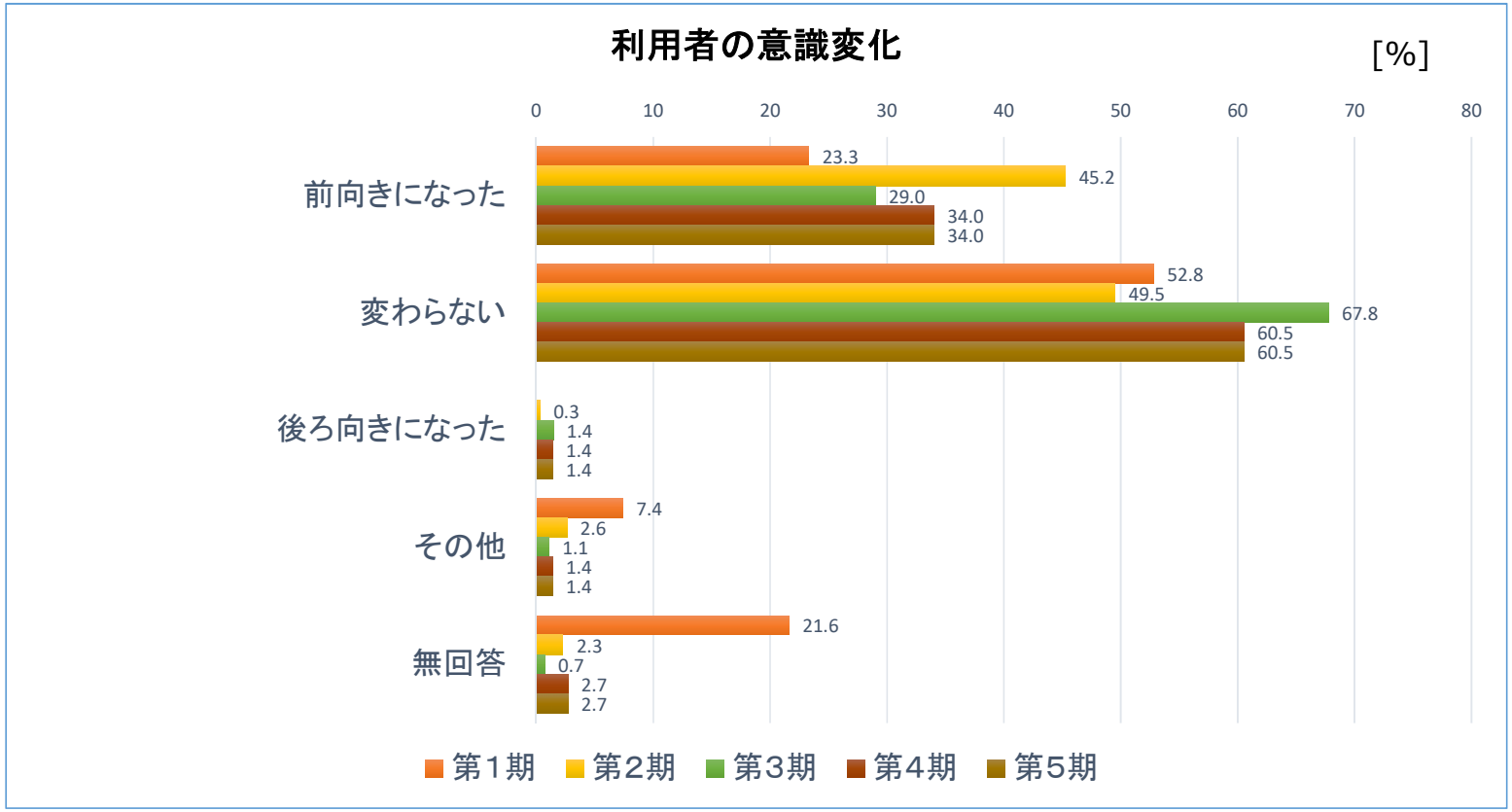


第３期以降において、意欲の向上よりも、「改善意識」や「職員の視野」の割合が高い。

参加者・ご家族に関するアンケート

川崎市 KAWASAKI CITY

◆利用者の意識変化

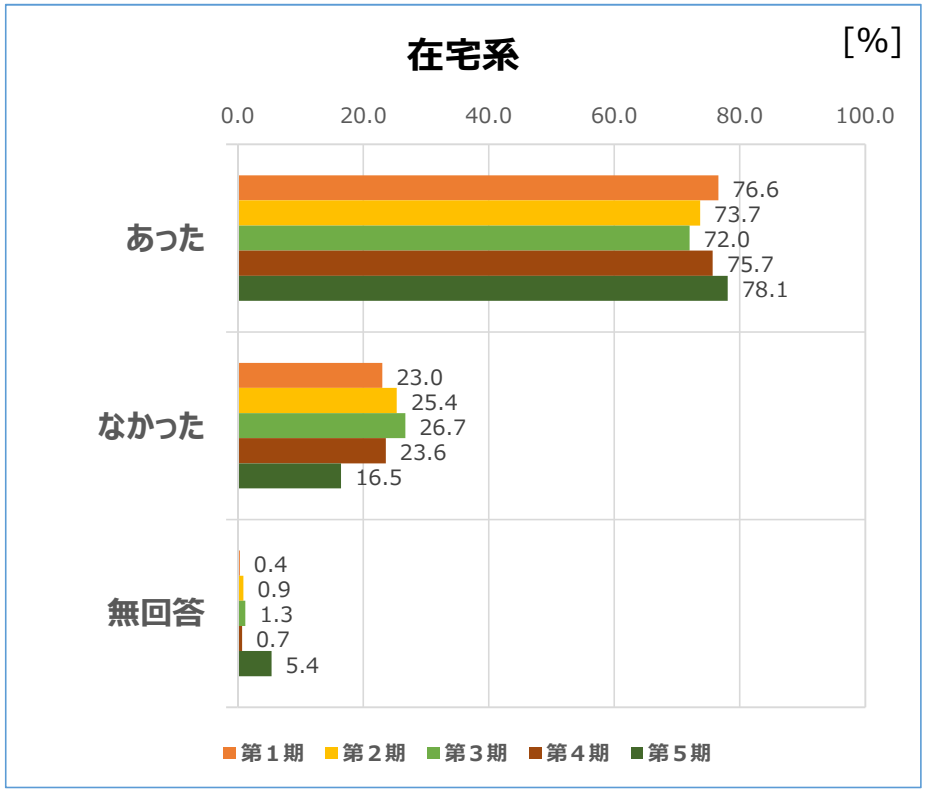


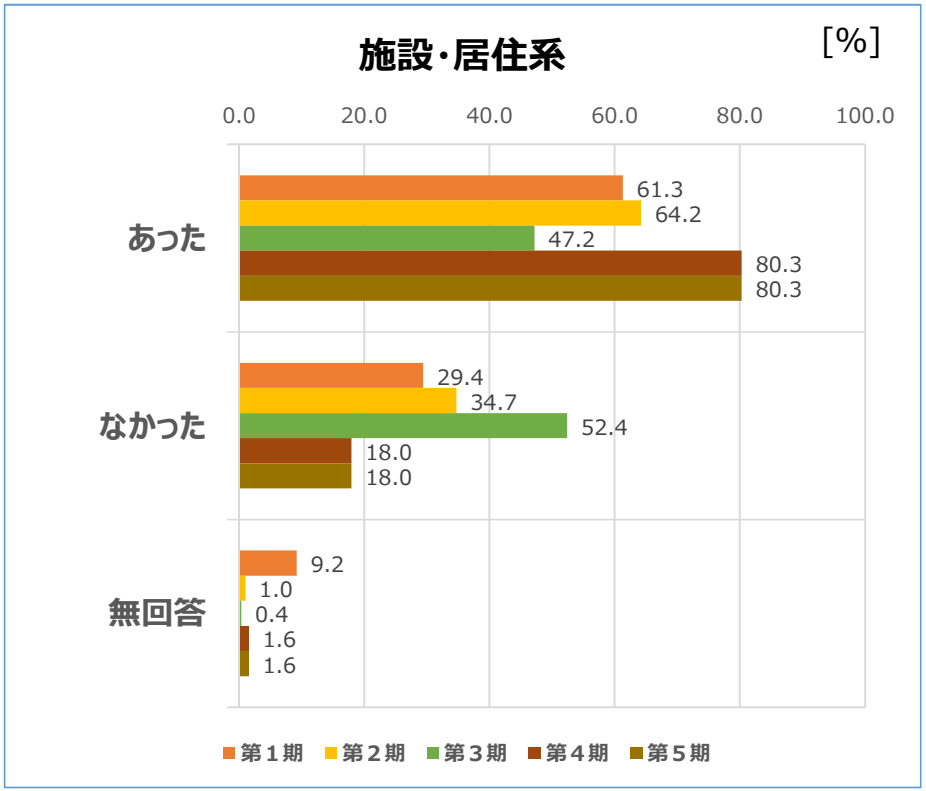
プロジェクトに参加することで、気持ちが「前向きになった」利用者は全体の２割～４割であった。

参加者・ご家族に関するアンケート

川崎市 KAWASAKI CITY

◆事業所から見た利用者・家族プラス面の有無



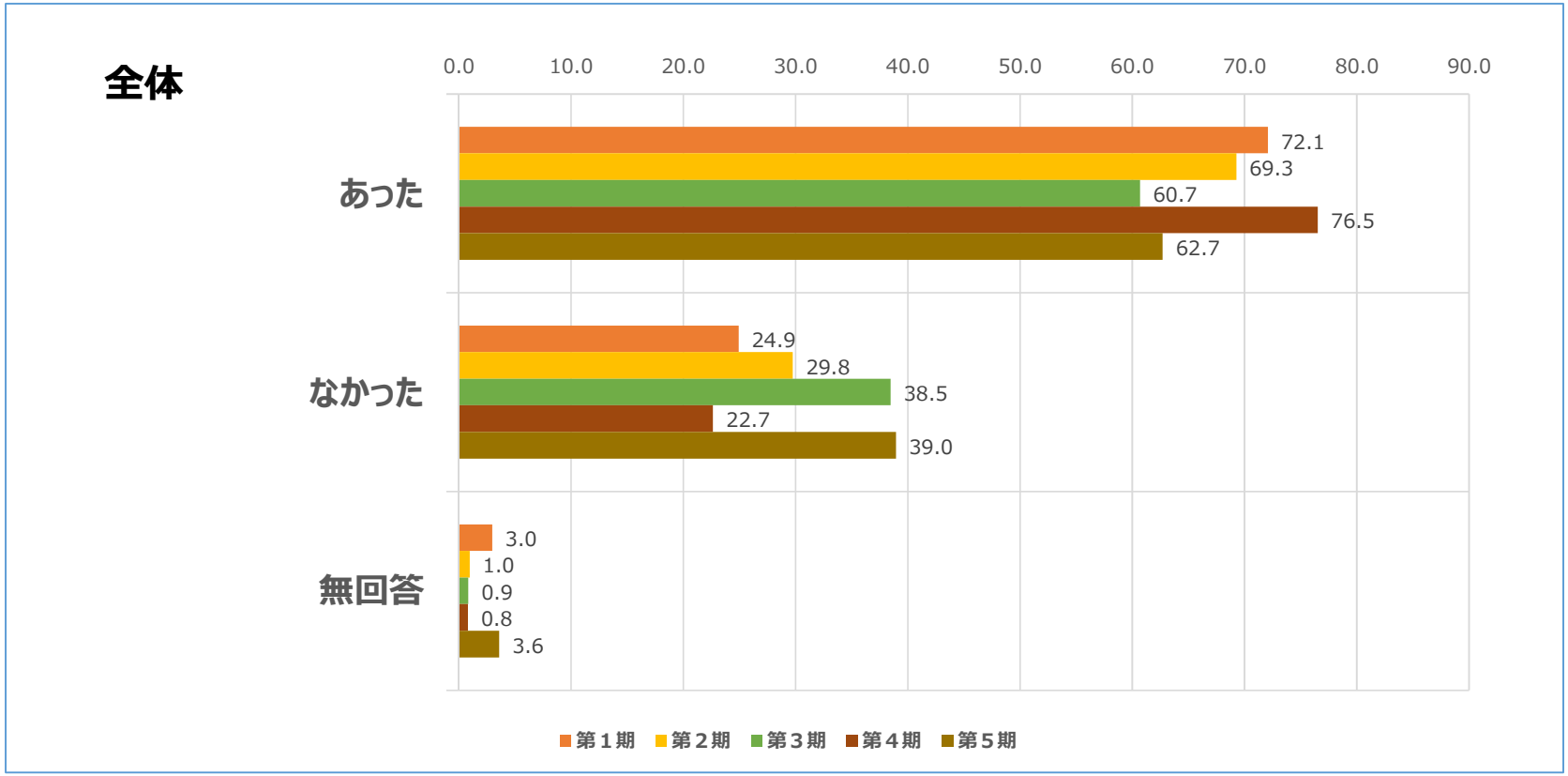


在宅系については、全期において７０％以上の事業所が利用者・家族のプラス面の変化を感じている。
施設・居住系についても、５期平均で約６０％の事業所がプラス面の変化を感じている。

参加者・ご家族に関するアンケート

川崎市 KAWASAKI CITY

◆事業所から見た利用者・家族プラス面の有無

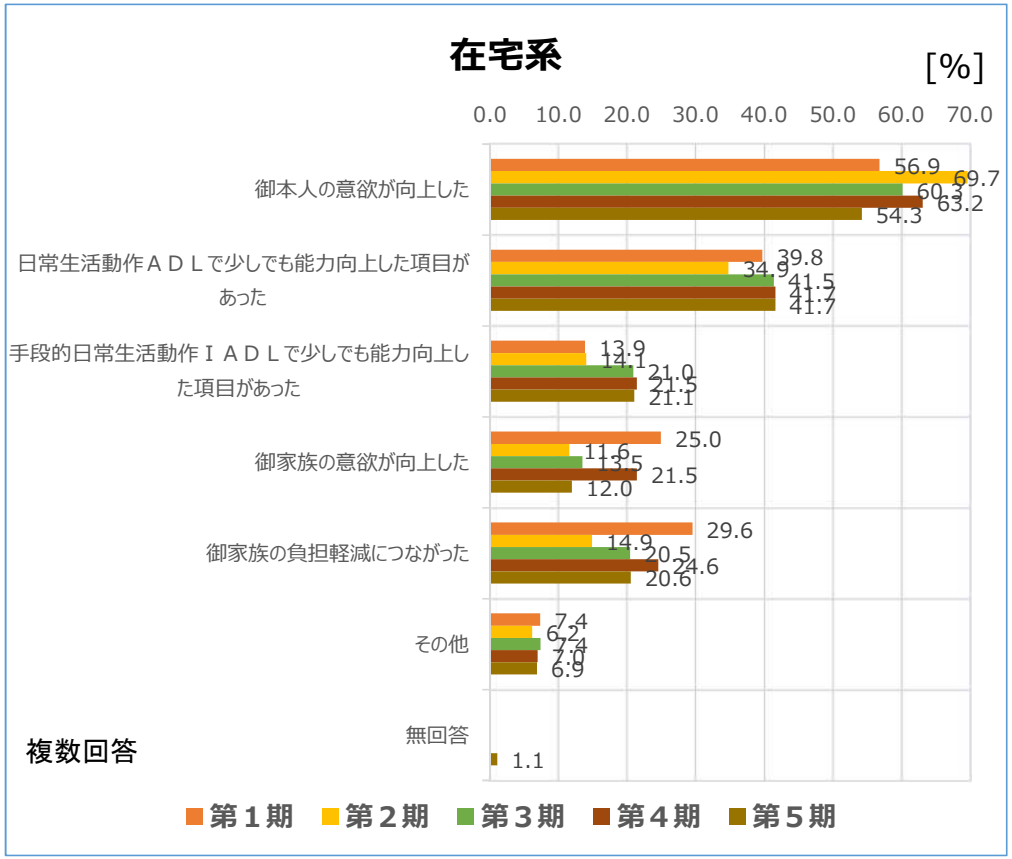


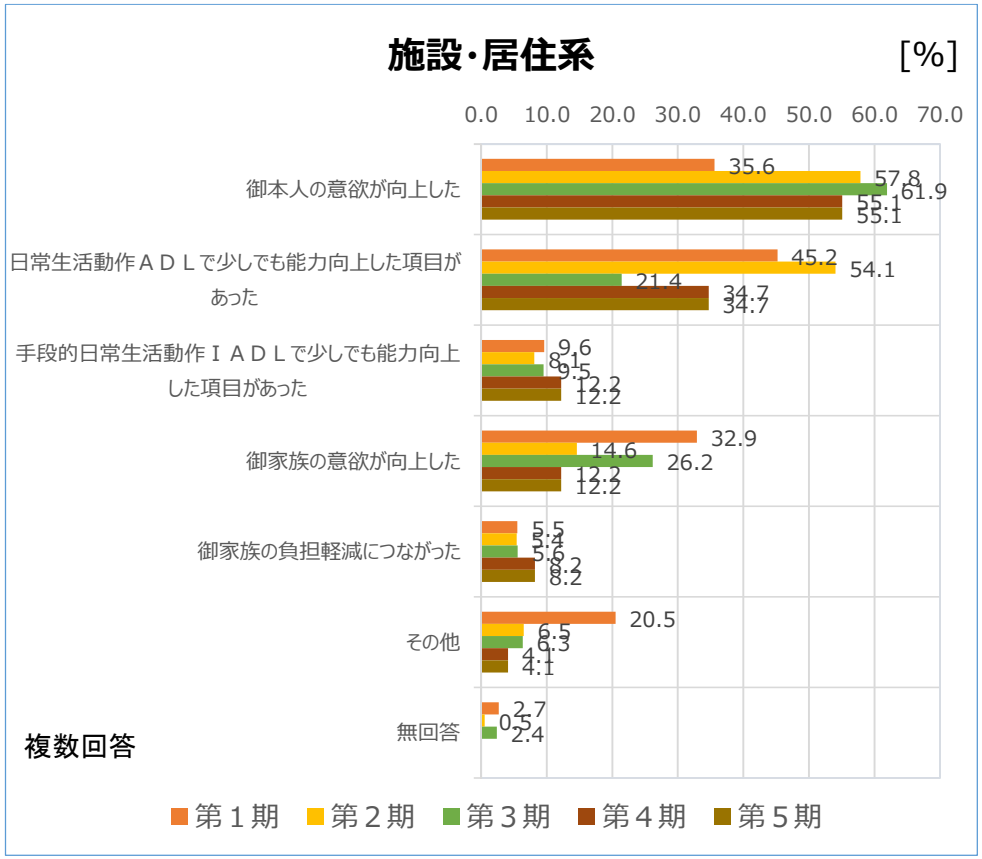
全体においても、全期において、６０％以上の事業所が利用者・家族のプラス面の変化を感じている。

参加者・ご家族に関するアンケート

川崎市 KAWASAKI CITY

◆事業所から見た利用者・家族プラス面の内容





プラス面の内容について、在宅系については全期において平均約６０％の事業所がご本人の意欲が向上したと回答があった。
施設・居住系についても、概ね５０％余りの事業所がご本人の意欲が向上したと回答している。

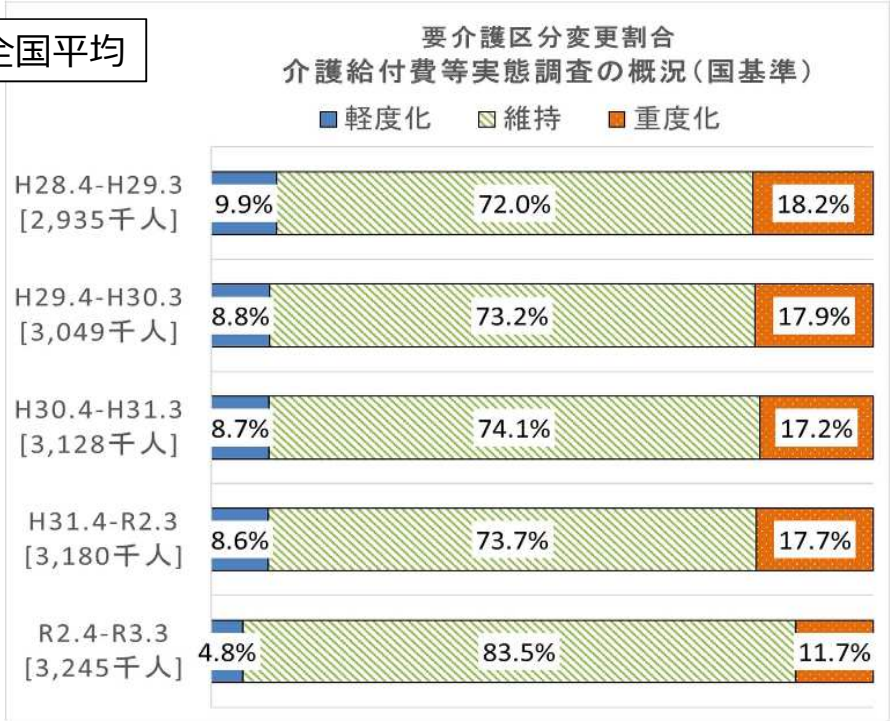
要介護度改善・維持率について全国平均との比較

川崎市 KAWASAKI CITY

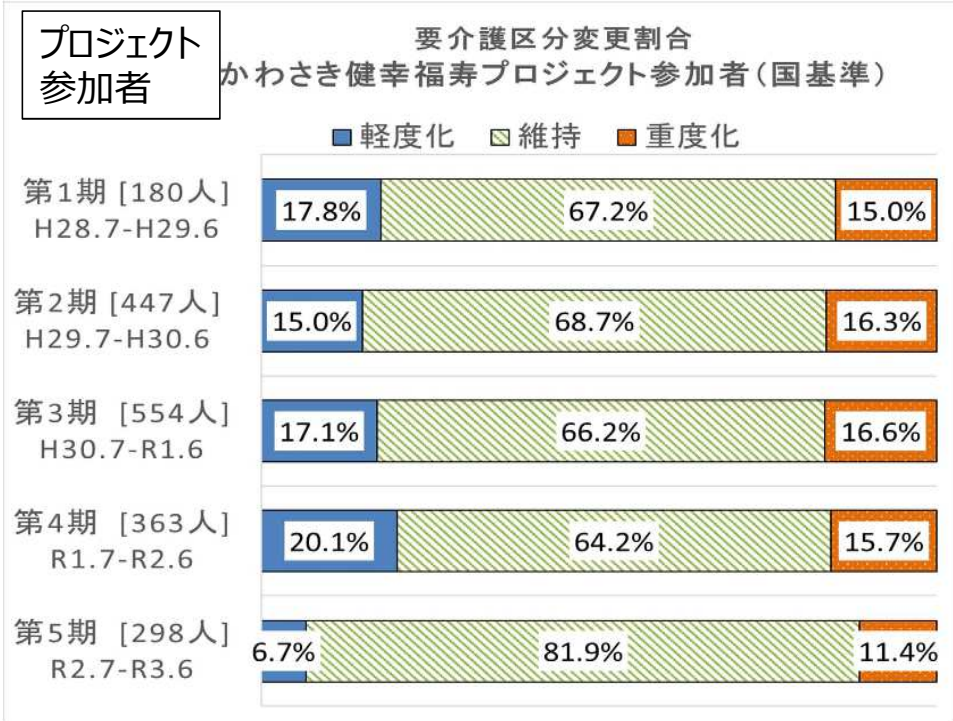
◆第１期～第５期　改善率・維持率の比較（全体）

プロジェクト参加者における維持を国が定義する維持に置き換え、プロジェクト参加者と全国平均との改善率等の比較を行った。全国平均は、例年、厚生労働省より公表される介護給付費等実態調査結果を参考とした。

全国平均



プロジェクト参加者



＊第５期については、新型コロナウイルス感染症にかかる要介護認定の臨時的な取り扱いにより、従来の要介護状態区分の引継ぎ、延長があったため、維持率が高いと要因である。

５期を通じて、改善率（軽度化率）はプロジェクト参加者が全国平均より上回っていることが確認できた。

皆様の御参加を
心よりお待ちしています